

2024-2025 年度 国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ
国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック (米国ペンシルバニア州)



第 2823 例会

令和 7 年 1 月 22 日(水)

No. 0761

例会日 : 毎月第 2・第 4 水曜日

場 所 : 各務原市産業文化センター2階

住 所 : 各務原市那加桜町2-186

TEL <058>382-4649 FAX <058>382-4719

会 長 : 金武 峰之 幹 事 : 松久 茂彦

副会長 : 左高 洋 会 報 : 星川 俊輔

本日のプログラム ◎2025 年 2 月 12(水) 外部卓話

場所:産業文化センター4 階会議室

次回例会の予告 ◎2025 年 2 月 26(水) 親睦交流例会

場所:信長 各務原店

出席委員会 会員総数 37 名 2024.7.1 現在



～ 中間決算報告例会/青少年交換学生ルイス・ヘラクス・アンダーソン君初例会 ～

司会進行

会長挨拶



松久 茂彦 幹事

金武 峰之 会長

皆様改めまして、
こんばんは。12月、
クリスマス例会を終
え上期が終了しまし
た。今年1月から下
期ということで、半
期はあっという間
だ、と思っております。
そして下期も楽

しく活動してまいりたいと思っておりますので、ぜひともよろしくお願いたします。

本日は、沢山お客様にお越しいただいておりますが、1番はルイスくんですね。ようこそ日本へ。そして各務原ロータリークラブへ。後ほど大野委員長よりホストファミリーについてご説明いただきます。今ルイス君は、小林アシスタントガバナーの家と一緒に暮らしていますが、この後小島さん、林さんでホストファミリーをやっていただく予定です。現段階で、ホストファミリーは3名になりますが、会としてルイス君が本当に日本に来て良かったな、各務原ロータリークラブで良かったな、と思えるように楽しく1年間を過ごしていただけるよう、みんなで

協力していきたいと思っておりますので、改めてよろしくお願いたします。ではご紹介させていただきます。

・青少年交換学生

ルイス・ヘラクス・アンダーソン君

・グローバル奨学生 三代 景湖 様

・青少年交換委員会 委員長 河人 宗寿 様
後ほど皆様にお話いただきますので、本日も宜しくお願いたします。

連絡事項

奉仕プロジェクト委員会 大野 広 委員長

皆さんこんばんは。ルイス君はこれから1年間、皆さんと一緒に各務原ロータリークラブの一員として過ごすことになりました。本日配布資料は、地区の青少年交会員からいただいた手引き書のまとめたものです。カウンセラーとして気を付けていただきたいこと、ホストファミリーとして気を付けていただきたいこと、聞きたいこと、そして1番上に書いてあるのは、受け入れクラブとして気を付けていただきたいことがまとめて書いてあります。

皆さんにお願いしたい事として先ず第一点、うちはホストファミリーじゃないから関係ない、という考え方をされている方がいるのであれば、即刻改めていただきたいです。

次に皆さんにやっていただきたい事の二つ目が、ホストファミリーのフォローをしていただきたいという事です。やはりずっと1つの家族だけで過ごすというのも、ホストファミリーも大変ですがルイス君のためにも良くないと思います。具体的には、例えば休みの日に近場で明治村へ行くから一緒に行かないかとか、犬山城に一緒に登ってみようかとか、ちょっと一緒に何かスポーツをしようかとか、そんな程度でいいと思います。少しずつコンタクトして接する機会を作っていただければと思います。後は皆さんの事業所で、例えば花見へ行くからとか、ボーリング大会を今度会社でやるからルイス君も出ないとか、そんな感じでいいと思います。とにかく少しでも皆さんと接する機会を作っていただきたいです。ホストファミリーに全部丸投げではなくて、皆さん1人1人がホストファミリー、ホストマザーであるという自覚を持っていただきたいと思います。これらのことを踏まえ、皆さんにご案内しております。1年間、ルイス君はお客さんではなく、皆さんの家族として沢山愛情を注いでいただきたいと思います。1年間よろしくお願ひいたします。

3分間スピーチ

永田 和弘 君

私は医者をやっております、今年の年末年始はインフルエンザとコロナがもう凄かったです。かつてないほど酷くて、12月は何処も皆さん28日で終わる所が多い中、うちの病院は30日までやりました。横山病院は休み中、ずっとやりましたよね。とにかく今までに例がないぐらい本当にすごかったです。

ただ、そこで一生懸命患者さんを診ていたら、自分がコロナとインフルのダブル感染してしまい、とても辛かったです。コロナとインフルの両方感染する事を、「フルロナ」と言いますが、インフルのフルとコロナのロナでフルロナと呼びます。これがフルになって、お正月は全部寝ていました。美味しい洋風のおせちも頼んだのですが、台無しになりました。僕の場合最初は、インフルエンザの薬を飲んだのですが全然効かなくて、もう辛くて辛くてしょうがないので、次にゾフルーザというコロナのお薬を飲んで、ようやく1月3日ぐらいにドラクエが出来るようになったという、そんな連休でした。

今、インフルエンザは随分収まってきていますが、今度コロナがちょっとつり始めています。皆さん注意してください。

ロータリー財団

ベネファクター及びポールハリスフェロー表彰

R財団委員会 河野 春男 委員長

◎ポールハリスフェロー表彰：横山 隆一郎 君
平井 正晴 君

4,000ドル以上のご寄附をいただきましたので、認証状と襟ピン（ブルーサファイア3粒のラペルピン）を贈呈

◎ポールハリスフェロー表彰、ベネファクター表彰：
金武 峰之 君

1,000ドル以上のご寄附と恒久基金をいただきましたので、認証状と襟ピンを贈呈



ブルーサファイア
3粒のラペルピン



ニコボックス報告

河野 春男 R財団委員長

・河人 宗寿 委員長 地区青少年交換委員長の河人宗寿です。ルイス・アンダーソン君がお世話になり有難う御座います。

・金武 峰之 会長 ルイス君ようこそ各務原RCへ！三代さん、河人委員長、本日は宜しくお願ひします。

・小林 幹男 AG LOUIS君を1年間宜しくお願ひします。河人委員長、本日は有難う御座います。

・松久 茂彦 幹事 ルイス君ようこそ！！

・野村 公人 会長エレクト ルイス君ようこそ日本へ、ようこそ各務原へ。

・松井 雅史 直前会長 ルイス君ようこそ。岐阜の生活を楽しんで下さい。三代さんお帰りなさい。

- ・横山 隆一郎 君 久々の出席です。
- ・平井 正晴 君 ルイス君ようこそ！
- ・可児 昌則 君 久しぶりの例会です。宜しくお願いします。ルイス君日本を楽しくお過ごしください。
- ・大野 広 君 三代さん、お久しぶりです。今日は宜しくお願いします。ルイス君ようこそ日本へ。ようこそ各務原 RC へ。
- ・永田 和弘 君 ルイス君日本へようこそ。本日も宜しくお願いします。
- ・小島 博彦 君 河人委員長、三代さん、ルイス君、ようこそ各務原 RC へ。
- ・星川 俊輔 君 最近足を温めると免疫が上がって風邪を引かない様な気がして、隙を見ては布団乾燥機で足を温めています。お蔭で元気です。ルイス君ようこそ各務原 RC へ。
- ・佐藤 千佳 君 ルイス君ようこそ各務原へ。実りある一年になります様お祈りしております。
- ・多和田 充宏 君 ルイス・ハラクス・アンダーソン君ようこそ日本へ。楽しい思い出を沢山作って下さいね。
- ・西条 継之 君 ルイス君ようこそ、私もオーストラリアに行ってみたいです。
- ・河野 春男 君 今年も宜しくお願いします。

**第 61 期決算報告
監査報告**

61 期幹事 小島 博彦 君
61 期監査役 横山 隆一郎 君
小島幹事より別紙の
通り報告されました。



第 62 期中間決算報告

62 期幹事 松久 茂彦 君
松久幹事より別紙の通り
報告されました。



青少年交換学生スピーチ

ルイス・ハラクス・アンダーソン君



各務原ロータリー
クラブの皆さん、お
会いできて嬉しいで
す。
皆さんとお会いでき
ることを、楽しみに
していました。私の
日本語はまだ完璧で
はないので、少しお
時間をいただくと

幸いです。3ヶ月以内に、流暢に話せるようになりた
いと思っています。

私はオーストラリアのアドレイドから来ました。ア
ドレイドには美しいビーチと、美味しいワインがあ
ります。

バレーボールをするこする事が好きで、2032年のオ
リンピックを目指しています。

ピアノは、10年間練習しており、現在7級です。
食事は、沢山食べる方です。ミキオさんとユカリさ
んは、とても満腹にしてくれ、ありがとうございます。
今までの経験はとても楽しく、皆さんが非常に
親切にしてくださっています。最初の晩、皆さんか
ら温かい歓迎を受け、とても美味しい夕食をいただ
きました。そして、私のホストファミリーのミキオ
さんとユカリさん、そして2人の素晴らしい息子た
ちにも温かい迎えをいただきました。金武会長と松
久幹事にもお会いできて光栄です。車の中でとても
親切にくださり、私について沢山褒めていただ
きました。また金武さんはビデオを見せていただき3
年前から逆立ちや、バク転が出来ていた、という素
晴らしい体操のビデオを見せてくれました。本当に
素晴らしい運動能力の持ち主ですね。さらに、河人
宗寿さんにも大変お世話になっており、この留学を
サポートいただき、有難うございます。また野村さ
んにもお会いし、もし何か問題があればサポートし
てくれる、とおっしゃっていただき更に安心しまし
た。ロータリークラブの皆さん、この素晴らしい機
会を本当にありがとうございます。ここにいる間、
最大限努力したいと思います。できるだけ多くの人
と繋がり、皆さんの話を聞くことを楽しみにしてい
ます。

ここにいる間、岐阜城と岐阜各務原航空宇宙博物館を訪れ、桜を見て、犬山や高山で伝統的な家屋を見学したいと思っています。また、美濃市にも行く予定です。改めて皆さんのサポートに感謝をしています。今年が最高の年になるように頑張ります。ありがとうございます。



スピーチ グローバル奨学生 三代 景湖 様



皆さんこんばんは。今日は私のためにお時間を使っただけありがとうございます。

私は現在、ロータリーのグローバル補助金の奨学生として、オーストラリアのクイーンズランド大学で医学の研究をさせてもらっています。

他の財団からも奨学金をいただいておりますが、こうして地元のロータリーの方々とお会いして、お顔を見ていると応援していただいているな、と実感が湧いてきます。本当にありがとうございます。特に松井先生には、他のロータリークラブへも積極的に紹介してくださり、グローバル補助金の細々とした書類作りも全て英語で作成して頂き、本当に力強くサポートいただいております。改めて有難うございます。

今日は簡単に活動報告をさせていただきます。私が今勉強しているのは、オーストラリアのブリスベンにあるクイーンズランド大学医学部です。日本の大学とちょっと違うのは、オーストラリアの医学部は

大学にもよりますが、7年から8年かけて卒業します。以前にもお話しした通り、私はこのオーストラリアの高校を卒業し、そのままクイーンズランド大学の医学部に入りましたが、コロナが始まったこともあり2つの大学に同時に所属しました。一つはクイーンズランド大学の医学部と、もう一つは京都大学の医学部大学院です。

両方の大学での研究が繋がっていき、京都大学ではiPS細胞研究所で1年間研究活動をする事が出来ました。



世界最大のキャンパス

大学の学士課程では、いくつかの研究や論文の発表など活動を広げることができました。

他にも、2021年にオーストラリア代表として参加した世界大会で1位を取得。2023年には京都大学のiPS細胞研究所の、特に遺伝子編集の研究室に所属し、自身でもiPS細胞をつくり山中先生から励ましの言葉をいただき、とても刺激を受けました。



私の研究の1つは、非結核性抗酸菌症という病気で、日本ではとても身近な病気であり、治療薬はなくあっても毒性が強いなどの問題があります。研究は、まず医師がこの病気をどのタイミングでどう治療するかという判断基準を作ることでした。このスコアリングシステムは、簡単な要因を通して死亡率を予測するものです。先ほどもお話しした様に、大変毒性が強い治療薬しかないことと、進行が遅い病気であるだけに、専門医ではない一般のお医者さんでは1番効果的な治療の開始時期が分からな

いのが現状です。

この基準があれば、適時に治療を開始し専門医に回す事も出来、治療の必要ではない患者には毒性の強い薬を使うこともなくなります。私はこの研究成果を2024年5月、アメリカのATSという国際呼吸器学会で発表しました。



次に、オーストラリアの医学部についてお話しします。日本の学部とは少し違い、オーストラリアの医学部は通常7年から8年かかります。また内容が非常に濃く、授業は朝8時から始まり夜10時に終わることもあり、時間が大変貴重になります。授業のためには最低2、3時間の準備が必要で、それがないと授業に出られません。更に、研究のための時間を確保するのは非常に困難です。

ここからはオーストラリアの生活を少しご紹介いたします。私はロータリーの方の家に住まわせていただいているお蔭で、安心した生活環境とサポートネットワークが有る事にとっても感謝しています。皆さんもご存知かと思いますが、オーストラリアでは今、食品を含め生活費が世界で1番高い国です。例えば水の値段、日本では110円ですが、オーストラリアでは560円です。基本的に水道水は飲めないのです、水はいつも買うことになります。そして、大学での学食は最低18ドルぐらいかかります。これは約1,800円で、飲み物をつけたら2,500円ぐらいになります。ということで、私は外食をなるべく避け、自炊がマストとなります。週末はバスで買い物に行き、日曜日に1週間分のお弁当を作ります。



そして、生活費の足しになるよう私は大学で講師(衛生学の講師)の仕事もしています。

次に2024年どんな活動をしてきたかをご紹介します。2024年5月、アメリカのサンディエゴで行われた国際呼吸器学会で研究を発表しました。

8月には遺伝学の学会、11月には非結核性抗酸菌症の国際学会を私の所属する研究室が主催しました。他には、2、3カ月にわたって免疫に関する研究室やパーキンソン病などの研究室を回りました。

そして8月には大学から、僻地医療を体験する奨学金をいただいて、遠くまで行ってきました。

ここはティエローという町で、私が住むブリスベンから2時間ぐらい、飛行機の後バスで6時間ぐらいのところにあります。私は、そこにある大きな牧場で住ませてもらいました。



アングス牛

この牧場は10万頭以上の牛がいました。

牛の多くは日本にも出荷されているみたいです。これはオーストラリアでは比較的小さな牧場と言えます。そしてここにいる間、オーストラリアの有名な金の採掘場にも行きました。

またボランティア活動として、僻地の街に住む子どもたちに、何かあった時に自分で対応できるよう、心臓マッサージを教えました。

オーストラリアの田舎には、アボリジニと呼ばれる先住民が多く住んでいます。彼らの健康や医療に対する取り組み方は大きく違います。



先ほどの牧場経営や鉱物採掘はオーストラリアの大きな産業の1つで、それらに関わる人はルーラルと呼ばれる僻地に住んでいます。そして、そこに住むアボリジニへの医療も含め、十分ではない医療体制が問題になっています。

ご存知の通りオーストラリアは非常に大きな国で、その大部分はルーラルとかアウトバックと呼ばれる壁地になります。そしてほとんどの場所で病院がなく、最寄りの診療所まで100キロ以上離れていることがよくあります。

例えば、脳卒中になった患者さんがどれだけ治療を受けられたかを見てみると、都市では77パーセントの患者さんが病院で治療を受けられたのに対して、僻地では3パーセントの患者さんしか手当てを受けることができません。近くに診療所がないからです。この都市と僻地の医療格差を解消するために、ロイヤル・フライング・ドクター・サービス（航空機を活用した緊急医療サービス）などがあります。患者さんをヘリコプターで都市の病院の屋上に運びます。他にもオーストラリア政府は、僻地で働く医者を増やすため卒業後、僻地だけで働くことを前提に、比較的低いスコアで医学部に入学させたり、またその学生たちには僻地医療に適した教育を受けさせたりします。

日本でもオーストラリアでも、僻地医療に関してはまだまだ改善することがたくさんありそうです。



ご挨拶

青少年交換委員会 委員長 河人 宗寿 様



皆様こんばんは。昨年度は篠原ガバナーのもとで大変お世話になりまして、有難うございました。そして今回は、オーストラリアからルイス・アンダーソン

君をクラブでお世話していただくことになりました。

ルイス君のスピーチも、見ながらでしたが、もう最初から素晴らしいスピーチで感動いたしました。このクラブにルイス君を預けて安心しています。どうぞよろしくをお願いします。

2630 地区の青少年交換委員会の歴史を少し紐解きますと、、、2630 地区で青少年交換が始まったのが1967年。1 番最初の派遣学生は山田マリさんという方で、スポンサークラブ(世話クラブ)は各務原ロータリークラブ)が1 番最初です。そこから2630 地区の青少年交換の歴史が始まりました。この山田マリさんは、オーストラリアのクラブに派遣されました。当時は未だ地区数が100 の単位ではなく、この地区は361 地区でした。361 地区の各務原ロータリークラブ。そして山田マリさんが、オーストラリアの260 地区 モーデザートロータリークラブに初めて派遣され、2630 地区の青少年交換の歴史が始まりました。以降、沢山の交換学生が行き来しました。1 番多い時には20 名程で、すごい人数を交換していたそうです。それから60 年余り経ち、また新たにこのロータリークラブにルイス君が来ました。これも何かの縁とっております。我々青少年交換委員会の1 番の目的は、青少年の保護であります。ルイスくんが安心、安全に日本で過ごしていただくことを、我々はサポートしていきますので、クラブの皆さんもぜひ、大野委員長が言われたように、クラブ全体でお世話していただき、ルイス君が1 年後にオーストラリアへ帰る時には、日本語がペラペラでもう帰りたくない泣くくらい、皆様にお世話をしていただきたいと思います。ルイス君も今、多分このクラブにホストしていただくことを喜んでいると思います。

良いクラブにマッチングしたな、と自分ながらに思っておりますので、ぜひ皆様方 ルイスアンダーソン君を1年間よろしくお願い致します。皆さんで楽しく。1年はあっという間です。楽しくお世話していただきたいと思います。本日はありがとうございました。

御礼の言葉

金武 峰之 会長

皆様お疲れ様でした。河人さん、本当に本日はお越しいただきありがとうございます。

クラブ全体でというお話、くれぐれも皆さん心に留めていただき、そして交換学生の歴史もお話いただいて本当に長い歴史があったんだな、と勉強になりました。

ルイス君のために各務原 RC 全体でフォロー出来るようにしていきたいと思っております。そして三代さん、貴重なお話を本当に有難うございました。

なかなか僕らでは、学べないような研究のお話であったり、オーストラリアの文化のお話もいただき、非常に勉強になりましたし、楽しませていただきました。物価高の現状や、三代さん自身の超過密日程で勉強されている事も本当に驚きました。僕らの奨学金が有意義にご活用いただいている事も、改めて思いました。今後ともご活躍期待しております。

そしてルイス君、本当によろこそ。最高の1年になると思いますので、最初は幹男さんに始まりホストファミリープラス会全体で、ルイス君を最高のおもてなしをして、そして河人さんが言われたように帰りたくない、と言って頂けるように。1年後に喜んでもらえるように、みんなで楽しく過ごせたらと思っております。例会には月に1度、お顔を出していただき、ルイス君の成長を皆で見守れたらなど、思っております。

